

令和六年第十四回

世田谷区教育委員会定例会

(二日目)

時 令和六年七月三十一日

所 大会議室

午前十時開議

○知久教育長　ただいまから令和六年第十四回世田谷区教育委員会定例会の二日目を開催いたします。

本日は、採択が一件です。

本日は、昨日採択した教科以外の国語・書写、美術、社会（地理的分野）、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）、地図、保健体育の四教科八種類について採択いたします。

また、採択の方法ですが、昨日同様に教科ごとに御審議いただいた後、無記名による投票を行い、過半数の票を得た教科用図書を採択することといたします。

なお、いずれの教科用図書も過半数に至らなかった場合には、獲得した票の有無や数にかかわらず、全ての教科用図書を対象に、再度投票を行うこととします。

それではまず、国語に関する教科用図書について採択を行います。国語は四社ございます。

それでは、委員の皆様の御意見をお願いいたします。

○澁澤委員　おはようございます。今日もよろしくお願いいたします。私は、国語に関しては、ある意味で言葉になる以前の非認知的なもの、身体性とかという言葉も使われますが、それを日本語というツールを使って考え、伝え、行動する力を養う科目だというふうに思っております。その意味で、生徒一人一人が学習の見通しを持ちながら主体的に学ぶ材料がよくそろっている、そのような教科書を選定したいと思っております。

○中村委員　国語においては、伝え合う力や思考力、創造力、言語感覚の育成が求められています。そういった観点から、生徒が主体的に学ぶ材料が充実しているもの、それから探究的なプロセスが明確化されているもの、教材の量や

バランスが適切なもの、思考や情報についての記載が充実し、情報活用能力の育成に資する内容となっているものを選びたいと思っています。

○鈴木委員 国語は、生活の全てや全教科にわたって物事を深く理解したり、説明するのに重要な基盤となる教科と捉えております。保護者といたしましては、今後、子どもたちが海外との関わりを持つに当たり、自国の文化を正しく理解し、発信できる力を身につけてもらいたいと考えております。また、情報化社会であるからこそ、言葉をコミュニケーションのツールとしてのみ扱っておらず、言語教育と異質な他者の心情に思いを巡らしていく、奥深い知性を身につけるための文学教育がバランスよく学べる内容になっている教科書を選びたいと考えております。

○坂倉委員 国語の教科書選定ですが、国語は日本語の運用能力、表現や文学に親しむというところはもちろん重要ですが、それに加えて、基本的な言語運用能力に結びつく重要な科目だというふうに考えています。とりわけ、最近では、生成AIとかを普通に日常的に誰もが使いこなしていくようになっていく社会でもあります。もちろん、コミュニケーションの道具として他者との対話は重要ですが、基本的に概念レベルの論理的な思考ができるということが決定的に重要になってきます。

国語の教科書の選定に当たっては、そういった背景も踏まえて、言語とはどういうものであるのかということに対話、探究を通じて学び合える、そういう素材としての教科書を選びたいと思っています。

○知久教育長 最後に、私から意見を述べさせていただきます。区では、これまでも教科「日本語」などを通して言葉の力を育成する取組を推進しております。言語能力は生徒の学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、各教科等の特質に応じて育成することが必要ですが、国語科はその要となる教材だと捉えています。

どの教科書にも多様な言語活動ができるような工夫がありました。読むことの言語活動については、読み手の手がかりや学習内容について、文章の前に示して学習過程の見通しを立てさせる教科書と、文章の後に示して後からヒントとして活用できるものとが特徴として分かれていると思いました。また、作品を読んだ後、自分の考えについて話し合う活動を設定している教科書も多くございましたが、同じ作品を取り扱っていても、どんなテーマについて話し合わせるかについては違いがありました。生徒が他の学習とも関連させて、言葉の力について考え、身につけることができる教科書を選びたいと思います。ほかに御意見はございませんか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより国語に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、国語に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

「投票用紙配付」

○知久教育長 指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

「投票箱点検」

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

「大野調整係長点呼、投票」

○知久教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

「投票内容点検」

○知久教育長 お待たせいたしました。これから国語に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

光村図書出版「国語」 五票

国語に関する教科用図書は、過半数に達した光村図書出版「国語」を採択することに決定いたします。

続いて、書写に関する教科用図書について採択を行ってまいります。書写は四社ございます。

それでは、委員の皆様のお意見をお願いいたします。

○澁澤委員 書写につきましては、机の上に広げて、そして、生徒たちが自分で書く、その手本となるような使い方ということで、机の上に広げたときの使いやすさというのが大変重要かなと私は思っております。また、発展的学びへの多くの工夫がなされている教科書、それから、ユニバーサルデザイン、UDフォント等、これからの社会の多様性の中で、それを自分でどう生かしているか、そういう学びのある教科書を選んでいきたいと思っております。

○中村委員 情報端末の普及で書くという場面が大変減少している中で、書写というのは非常に重要な教科だと認識しております。毛筆の手本の分かりやすさ、見やすさということがまず第一、さらに、毛筆で学んだことが硬筆に生かせるようになっていくかどうか、それから、もちろん情報についての記載の内容、その他、資料の充実、このあたりを視点として選びたいと思っております。

○鈴木委員 書写については、小学校時代から引き続き、日本語の基礎として文字を正しく学ぶというのが書写の原点と考えております。時間数が少ない書写ですが、効率よく学ぶことができるか、生徒たちが主体的に取り組むことができるか、日本の伝統文化、文字文化の理解が深められる内容になっているか

で判断してまいります。

○坂倉委員　まずは授業での使いやすさというのを第一に選びたいと思います。その上で、身体的に文字を書く、毛筆での表現を習得するというのも大事なのですが、最近、授業ではタブレットやクラウドでの共同作業等が増えていまして、書くということの意味がちよつと変わってきており、つまり、例えばグループワークの中で、みんなの前で壁に貼っていくようなコミュニケーションの文字をどういうふうに書くかということも非常に重要で、昔と意味が変わってきているというか、改めてメディアリテラシーとして書くということ自体のコミュニケーションツールとしての使われ方というのが変わってきているというふうに学校の現場では感じています。

なので、伝統的な表現に親しむということに加えて、それが今の教室の中のいろいろなコミュニケーション、あるいは教室外でのコミュニケーションにもつながるというところに広がる、そういう総合的な扱いを加味して選択したいと思っています。

○知久教育長　最後に、私から。書写は実技であり、道具の準備や片づけにも時間がかかります。生徒一人一人にとって学びやすい教科書であること、使いやすいたことが私もポイントになると考えます。

毛筆の手本を比較しますと、手本がページの左側にあり、右のページを下敷きの下に入れ込むことで机の上を整理することができ、手本がページの右側にあるもの、手本が見開き一ページになっており半紙と同じサイズになっているものと、それぞれに違いがありました。どんな生徒にとっても、準備を難しく感じることなく、学習に集中できるような教科書を選びたいと思います。

ほかに御意見はございますか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより書写に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○知久教育長 御異議なしと認め、書写に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○知久教育長 指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○知久教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○知久教育長 お待たせいたしました。これから書写に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

教育出版「中学書写」 一票

光村図書出版「中学書写」 四票

書写に関する教科用図書は、過半数に達した光村図書出版の「中学書写」を採択することに決定いたしました。

続いて、美術に関する教科用図書について採択を行ってまいります。美術は三社ございます。

それでは、委員の皆様の御意見をお願いいたします。

○澁澤委員　初めに、美術に関してなのですが、三社ともとてもすばらしく出来上がっています。これは文字情報だけではなくて、造形ですとかデザイン、それから絵画というものを使いながら、人々にコミュニケーションツールとしてそれを用いながら伝えていくということで、これほど可能性があつて、また、読みごたえのあるものに完成するのかということで、私は三社とも大変感心させられました。美術の時間のこま数の関係から、それぞれの教科書を丹念に利用することができないということが、むしろとても残念に思った次第です。そのような中で、私は造形的視点を中心にして選定をしていきたいと思っております。

それから、ちよつと小さいことになるかもしれませんが、ある教科書で、点描画の部分を生徒に分からせるということで、使われている写真を拡大して点描画の解説に用いている教科書がありました。ただ、デジタルで撮った写真をそのまま拡大しているために、画面上に画素の拡大された点と、点描画で絵具で描いた点が混在をしていて、生徒に大変誤解を与えるというような部分がありました。今後、教科書をまた作られていくときに、デジタルのものをどうやってうまく使っていくか、その辺の技術的な工夫もぜひお考えいただけたらありがたいなと思っております。

私からは以上です。

○中村委員　美術は音楽と同じように心情や感性を育成する教科であると思いますけれども、そういった意味で、どの社も自分が学生だった頃に比べると読み物としてもすぐくすばらしいものに仕上がっていると思います。

そういった中で、技法や鑑賞だけでなく、社会とのつながりであるとか、他教科との関連、中学校三年間の見通し、さらには、その先も含めたキャリア教育への関連、それから小学校とのつながり、このあたりを視点に選定していきたいと思っております。

○鈴木委員 美術については、どの教科書もいつまでも眺めていたようなすばらしい出来上がりとなっていました。また、生徒がこれから、生涯にわたり美術に親しみ、豊かな感性を育むことができるようになっていくことが大切だと考えております。各時代の代表的な作品をくまなく取り扱っているか、学習目標やほかの教科との関連性を分かりやすく示しているか、そして、造形的な見方、考え方を促すような工夫がされているか、美術に関する意欲、興味を引き出すことができるようになっていくかという点で判断してまいりたいと思います。

○坂倉委員 美術の鑑賞とか表現に関しては本当によく作り込まれていて、古典からコンテンポラリー、ポップカルチャーまで幅広く扱っている教科書ばかりでした。その中で大事だなと考えましたのは、やはり教科書として、他教科とか、日常生活に別の視点を開いてくれるような、美術作品を通じて、あるいは造形表現を通じて新しい見方に開かれていくような気づきとか議論が広がる、そういうフラットな接続がしやすい教科書という視点で最終的には選ばせていただきたいと思っています。

○知久教育長 最後に、私から。美術科は、音楽科と同様、感性や創造力を働かせて学ぶ教科であるところに特徴があると考えています。そして、表現や鑑賞の活動を通して、多様な芸術や制作した作品について、自分としての意味や価値を見出していくことが大切です。

主体的な学習ができるという観点で拝見したとき、開隆堂は冒頭に図画工作から美術へのつながりを大切にした導入ページを設けていました。日本文教出版も、それぞれの活動の入り口にガイダンスページを設けてありました。どちらも生徒が学ぶことへの見通しが立てられるような工夫だと感じました。光村図書は、「みんなの工夫」として、中学生が試行錯誤しながら制作する様子を紹介することで、生徒が自分ならどうするだろうと考えられるようになってい

ました。生徒が主体的に取り組むことで、美術や芸術によって将来の生活を豊かにすることにつながる教科書を選びたいと思います。

そのほかに御意見はございませんか。

「〔なし〕の声あり」

○知久教育長 それでは、これより美術に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「〔異議なし〕の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、美術に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○知久教育長 指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○知久教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○知久教育長 お待たせいたしました。これから美術に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

開隆堂出版 一票

光村図書出版 三票

日本文教出版 一票

美術に関する教科用図書は、過半数に達した光村図書出版の「美術」を採択することに決定いたしました。

続いて、社会（地理的分野）に関する教科用図書について採択を行ってまいります。社会（地理的分野）は四社ございます。

それでは、委員の皆様の御意見をお願いいたします。

○澁澤委員 私は、数えますと大体五十ぐらいの国で仕事をしてまいりました。また、現在は、職業柄、日本各地を回りながら仕事をしております。そういうことから考えると、その行った場所、行った場所で大変多様な文化に触れ、多様な風土に触れ、そして、ある意味では、ある種のカルチャーショックを得ながら暮らしてまいりました。

決して価値観は一つではなくて、多くの視点から、ある意味では、メタ認知的な能力を養いながら世界と付き合っていくことが必要だと思っております。私は、多くの視点が豊富な教科書を選定していきたいと思っております。

○中村委員 地理では、地理的事象への関心を高めて、多面的・多角的に考察することが求められています。私自身も子どものときに教科書で見た写真というのは非常に印象に残っておりますが、地理の教科書というのは、多くの生徒にとって、ある意味、世界への玄関のような役割かなとも思っております。

そういった意味で、知識の習得だけでなく、課題を発見して解決を目指す、そういう過程を重視した編集になっているかどうか、それから、先ほど申しましたように資料が充実している、それから対話的、協働的な活動に資する内容となっている教科書を選びたいと思います。

○鈴木委員 将来、社会人になってビジネスを展開したり、政策を講じるような場面では地理的な知識は不可欠であり、自然科学と社会科学をつなぐ学びが地理という教科だと捉えております。どの教科書も、課題発見、解決能力の育成に関する事項を工夫して取り扱っております。自宅で学習しやすいよう

に、まとめや振り返りの項目がどのようになっていくかという点で選んでいきたいと思っています。

○坂倉委員 地理という科目は、教科的にいうと、どうしても暗記科目になってしまいがちな部分があります。しかし、地理は今の現代社会で生きる、あるいはいろいろな物事を組立てていくときに非常に重要で、今や地政学的な感覚なしに世界情勢は分かりませんし、地方創生や地域づくりについても同様に、地理的な感覚がないとなかなか発想が得られない。それだけではなくて、地球のスケール感、どれぐらいの大きさであるのだろうかとか、どれだけ多様な暮らし方があるのだろうか、そういったことに思いをはせるためにも地理は非常に重要な科目と考えています。

ですので、情報の多さもさることながら、その他の教科とか、社会的な日常で触れるいろいろな物事にいかに地理的、地政的につながっていくのか、そういう入り口がふんだんにある教科書を選定したいと考えています。

○知久教育長 それでは、最後に私から。中学校では、小学校の社会科から地理、歴史、公民を別々の授業で学ぶことになります。小学校で学習したことを基にさらに発展的に学ぶことについて、生徒が見通しを持つことが大切となっています。

今回の教科書で小学校の学習とのつながりについて見てみると、各章の初めに、小学校の社会で習った言葉が設けられている教科書や、ページの下部分に小学校、歴史、公民、他教科と関連するワードが記載されており、つながりを意識できる構成となっている教科書、それぞれに工夫されていると感じました。併せて、課題の発見、課題解決能力の育成といった視点も踏まえ、教科書を選びたいと思います。

そのほかに御意見はございませんか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより社会（地理的分野）に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「〔異議なし〕の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、社会（地理的分野）に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○知久教育長 指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○知久教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○知久教育長 お待たせいたしました。これから社会（地理的分野）に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

東京書籍「新編 新しい社会 地理」一票

帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」四票

社会（地理的分野）に関する教科用図書は、過半数に達した帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」を採択することに決定いたしました。

続いて、社会（歴史的分野）に関する教科用図書について採択を行ってまいります。社会（歴史的分野）は九社ございます。

それでは、委員の皆様のご意見をお願いいたします。

○澁澤委員　歴史的教科書に関しては、事前に区民の皆様新しい教科書を御覧いただいて、多くの方々の御意見をいただきました。その意味では、多分、区民の皆さんの関心が一番多かったのがこの分野なのかなというふうにも拝察をしております。

私は戦争を知らない世代です。ただ、私の両親たちは戦争を体験し、私の父の同級生は約八割の方が戦争で亡くなっております。私が生きてきた人生の中では、多くの被害者の方々、そして、多くのとは言えませんが、何人か語ってくださいました加害者の方々のお話も聞いて、戦争というものに対してのイメージを自分自身の中でつくってきたのかと思っております。その意味では、政治的に右だとか左だとかということではなく、事実を事実として受け止めながら、生徒各自がそれぞれの俯瞰的な歴史観をつくってほしいなど、次の世代には私は期待をしております。

先ほどの地理はいろいろな視点を持つということを重視しておりますが、私は歴史の中では、その登場人物がどのような思いで、そして、どのような判断を下したのか、また、そこに登場していないが、その時代の社会の人々がどのようにそれを受け止めてきたのか、その辺を自分事として考えられるような教科書を選定していきたいと思っております。

○中村委員　歴史においては、資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断、適切に表現すると学習指導要領には記載がありますけれども、歴史における資料というのは、資料の資の字が歴史の史にもなるわけですね。その史料の解読とか、そういったものが非常に重要になってきて、特に高校の日本史探究では、世界史もそうですけれども、そういう文献的史料の解読なども、今後だんだん進んでいくような傾向に今なっております。

そういった意味で、中学の頃からそういった準備が必要になってくるわけ

ですが、暗記する歴史ではなく、探究する歴史へ、それで高校の探究につながる。そういう意味でも、問いを立てて、探究するプロセスが明確な編集になっているもの、それから資料が充実している、特に文献史料が充実しているもの、時代の特色がつかみやすいもの、調べ方、まとめ方、発表の仕方などが分かりやすく記載されているもの、こういった教科書を選択したいと思っています。

○鈴木委員 歴史については、歴史を学ぶことによって現状を正しく理解できる、将来、正しい判断ができる力をつけることができる内容になっているか、生徒が家庭学習においても主体的に学ぶことができる資料やデジタルコンテンツが充実しているかという観点で判断していきたいと思います。

○坂倉委員 今、目の前の現象、私たちの社会全てですけれども、それがなぜこうなっているのかというのを深く理解しようとしたときに、過去に遡ってひも解いていくということが非常に重要になると思っています。歴史に学ぶというのは、歴史を知ることだけではなくて、現代を知るためのこれまでの経緯をしっかりと理解していくことであると思います。

ですので、教科書選定に当たっては、まずは大きく歴史的なパースペクティブを理解しやすいということを第一に、そして、歴史には多様な立場の人たちが登場しますので、そうした派生的に物事、ストーリーを捉えていくような、対話につながるような教材であるということを重視して選択したいと思っています。

○知久教育長 それでは、最後に私から。各教科書とも、SDGsや伝統文化、防災、安全、情報技術など、公民分野へのつながりも意識しながら発展的に学べるようなページがございました。発展的に学習するための工夫としては、特設ページがある教科書や、「もつと知りたい！」というコラムがある教科書もございました。また、写真やグラフなどの豊富な資料から発展的に学べ

る教科書もあり、各社工夫されていると感じました。

歴史においては、我が国の歴史の大きな流れを理解するとともに、歴史に学びながら、様々な現代的な課題を自分事として捉えて、考えることが大切だと考えますので、こうした視点から教科書を選びたいと思います。

そのほかに御意見はございますか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより社会（歴史的分野）に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、社会（歴史的分野）に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

「投票用紙配付」

○知久教育長 指名点呼に従って投票していただきます。
それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

「投票箱点検」

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

「大野調整係長点呼、投票」

○知久教育長 それでは、投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

「投票内容点検」

○知久教育長 お待たせいたしました。これから社会（歴史的分野）に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

社会（歴史的分野）に関する教科用図書は、過半数に達した東京書籍の「新編 新しい社会 歴史」を採択することに決定いたしました。

続いて、社会（公民的分野）に関する教科用図書について採択を行ってまいります。社会（公民的分野）は六社ございます。

それでは、委員の皆様の御意見をお願いいたします。

○澁澤委員 私は、地理、歴史で身につけた判断力や知識を自分の行動につなげていく、そのきっかけをつくるのが公民という科目だと思っております。自身事として考え、そして、自身の行動にそれをつなげながら、よりよい社会を実現するために、それを目指していけるような教科書を選定していきたいと思っております。

○中村委員 社会科は、三分野全てキーワードとなるのは、多面的・多角的な考察ということが言われています。ただ、公民では、現代的な課題である人権問題、それから今、よく民主主義の危機なんて言われていますけれども、民主主義、民主政治についての理解、この辺が重要になってくると思います。

そういった中で、単なる用語の暗記に陥らず、問題解決的な学習や探究的な学びとなるプロセスを重視した編集、それから、やはり対話的、協働的な学びにつながる内容及び資料が充実していること、このあたりを視点として選びたいと思っております。

○鈴木委員 公民は、生徒が実社会へ出たときに一番必要な教科なのではないかと考えております。政治や経済に関心のない若者が多いと言われておりますが、中学生の段階でしっかり関心を持ち、意欲的に学びたくなるような内容になっていくかで見えていきました。

どの教科書も、情報活用能力の育成に関する事項の取扱いがなされており、メディアリテラシーを身につけられるように工夫されておりました。課題把

握、追求、解決的な学習の流れになっているかという観点でも選んでいきたいと思っています。

○坂倉委員 現代社会は非常に複雑で、これから育つ人たちがどういうふうはこの社会を理解していくのかというのは大きな問題かと思うのですけれども、そういう意味で、この公民という科目は現代をよく生きるために非常に重要な教科なのではないかと思っています。

ですので、主権者教育も含めて、メディアリテラシーとか、SOGIとか、現代社会の多様な問題を分かりやすく、そのポイントを学びやすいという点を重視して選択したいと考えています。

○知久教育長 それでは、最後に私から。世田谷区では、新たな有権者となる児童・生徒が政治や選挙への関心を高め、国家や社会の形成者として主体的に参画しようとする資質や能力を育成する取組を推進しており、生徒が国民としての権利や義務について考える公民の学習の充実が欠かせません。

主権者教育については、どの教科書でも工夫して取り扱っていました。「十八歳へのステップ」として選挙の流れを図に示している教科書、グラフや表を複数掲載し、投票率の推移や一票の格差について理解が深められる構成になっている教科書がございました。本文以外にコラムを設けているものも複数あり、生徒が主権者として多様な人々と協働しながら、生きる力を育むための工夫が見られました。こうした視点から選びたいと思います。

そのほかに御意見はございますでしょうか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより社会（公民的分野）に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、社会（公民的分野）に関する教科用図書の

採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○知久教育長 それでは、指名点呼に従って投票していただきます。

まず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○知久教育長 これより投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○知久教育長 お待たせいたしました。これから社会（公民的分野）に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

東京書籍「新編 新しい社会 公民」 三票

帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」 二票

社会（公民的分野）に関する教科用図書は、過半数に達した東京書籍の「新編 新しい社会 公民」を採択することに決定いたしました。

続いて、地図に関する教科用図書について採択を行ってまいります。地図は二社でございます。

それでは、委員の皆様の御意見をお願いいたします。

○澁澤委員 二社拝見させていただいたのですが、今回に関して言えば、明らかに作り込みの熟度ということで差があったのかなというふうに感じております。俯瞰的な判断ではなくて申し訳ないのかもしれませんが、地図としての完成度という形で判断をさせていただきます。

○中村委員 地図に関しましては、統計資料の見やすさ、それから、もちろん、地図や資料が充実していること、それらによって資料活用、またはデータ分析の力の育成に資するもの、それから、やはり教科書との関連、さらには小学校との関連、このあたりを視点として選びたいと思っております。

○鈴木委員 地図につきましては、視覚的に見やすくなっているか、レイアウトが分かりやすくなっているか、資料として扱ったときに最新のものにアップデートをされているか、家庭学習で生徒が自主的に学ぶことができるかという点で採択いたします。

○坂倉委員 地図につきましては、総合的に地図、地理情報や統計の情報からいろいろな引き出しがあって、授業で応用的に使いやすいだろうという教材を選択します。

○知久教育長 最後に、私から。地図は、国土や歴史、国際関係の理解など、いずれの分野の学習とも深い関わりがあります。生徒目線での紙面の使いやすさや情報の豊富さはもとより、課題の解決のために必要な情報がすぐに検索できることが重要です。このような観点から、ユニバーサルデザインフォントの使用や、三年間の使用に耐えられる作りで、全ての児童の学びを支えるものであることも大切です。今回、採択対象の教科書のうち、このような特徴がより顕著であるものを選びたいと思います。

そのほかに御意見はございますでしょうか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより地図に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

「「異議なし」の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、地図に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これより投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

○知久教育長 これより指名点呼に従って投票していただきます。

それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

〔投票箱点検〕

○知久教育長 点呼を始めてください。

〔大野調整係長点呼、投票〕

○知久教育長 これより投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

〔投票内容点検〕

○知久教育長 お待たせいたしました。これから地図に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

帝国書院「中学校社会科地図」 五票

地図に関する教科用図書は、過半数に達した帝国書院の「中学校社会科地図」を採択することに決定いたしました。

続いて、保健体育に関する教科用図書について採択を行ってまいります。保健体育は四社ございます。

それでは、委員の皆様の御意見をお願いいたします。

○澁澤委員 四社それぞれ拝見いたしましたけれども、私自身は、あまり大きな差はないのかなというふうはこの教科書に関しては見ております。今の私どもの社会の中で、大人も、子どもも抱えている一つの問題というのは、やはりストレスへの対象の仕方かと思っております。それが丁寧に書かれているもの、また、世田谷区は特に性の多様性ということを重視した社会の実現を目指しております。その意味で、それらのことが的確に、客観的に捉えられているもの

を選定していきたいと思っております。

○中村委員 保健体育では、生涯にわたり運動に親しんで、健康の保持増進や、そのための実践力を向上させることを目的としております。そういった意味で、学習の流れが明確な編集になっているもの、それから、資料が充実しているもの、話し合い活動など協働的な学びがやりやすい内容になっている、さらには現代的課題への記載内容、このあたりを視点として選びたいと思います。

○鈴木委員 保健体育は、自分の身体と心を知ることにより、生涯を通じて健康で安全に幸せに生きるとはということなのかということをも身につける教科と捉えております。授業時間数が多くない教科ですから、短時間でも深い学びができる構成になっているか、ストレスへの対処、災害時の対処方法など、生徒が主体的に学べるか、実社会で活用できるか、みんなと考え、話したくなる内容になっているかという点で判断してまいります。

○坂倉委員 どの教科書も基本的な知識の習得、学習についてはよく工夫されていると思いました。判断基準としては、学ぶ主体としての中学生も自身の生活があり、悩む主体でもあると思います。教科書がそういった中学生一人一人の悩みに寄り添った作りになっているかどうか、その辺のところを考慮して選択したいと思っています。

○知久教育長 では、最後に、私から。人生百年時代と言われる社会を生きていく子どもたちにとって必要なことは、一人一人の生活における健康に関する課題を解決することです。適切な運動や食事、睡眠はもとより、病気になる原因を知り、その予防を行うこと、心や体の動きなど、健康に保つすべを身につけること、さらには、生活の中で起きるけがを防ぐために危険予測や回避することについて生徒が具体的に考え、判断し、自ら実践したいと思える工夫がなされている教科書が望ましいと考えます。

そのほかに御意見はございますでしょうか。

「「なし」の声あり」

○知久教育長 それでは、これより保健体育に関する教科用図書の採択について表決を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんでしょうか。

「「異議なし」の声あり」

○知久教育長 御異議なしと認め、保健体育に関する教科用図書の採択について表決に入ります。

これから投票用紙をお配りいたしますので、各委員が採択するにふさわしいと考える教科書に丸印の記入をお願いいたします。

「投票用紙配付」

○知久教育長 これより指名点呼に従って投票していただきます。
それではまず、投票箱が空であることを確認いたします。

「投票箱点検」

○知久教育長 それでは、点呼を始めてください。

「大野調整係長点呼、投票」

○知久教育長 これより投票内容を点検いたしますので、しばらくお待ちください。

「投票内容点検」

○知久教育長 お待たせいたしました。これから保健体育に関する教科用図書の投票結果を申し上げます。

大修館書店「最新 中学校保健体育」 五票

保健体育に関する教科用図書は、過半数に達した大修館書店の「最新 中学校保健体育」を採択することに決定いたしました。

以上で、採択第一号、令和七年度使用世田谷区立中学校教科用図書の採択は終了いたしました。

これをもって本日の日程は全て終了し、令和六年第十四回教育委員会定

例会を閉会いたします。

午前十一時八分閉会